



杉本善和健康福祉部長(左)から賞状を受け取った浦田葵さん。14日、新宮市立城南中学校

浦田葵さんが入選

愛鳥週間用ポスター原画コンクール

和歌山県

「令和3年度愛鳥週間用ポスター原画コンクール和歌山県審査」がこのほど、和歌山市内であった。東牟婁振興局管内からは新宮市立城南中学校(中田善夫校長)の浦田葵さん(1年)が入選し、14日には同校で伝達授与式が行われた。制作過程を通じて愛鳥

思想の高揚とともに、入賞作品の展示により一般県民への野鳥保護思想の普及啓発を図ることが目的。県内の小、中、高校生を対象に毎年募集している。

今年463点の応募があった。特選は9点、入選は15点、佳作は40点。授与式では、同局の杉本善和健康福祉部長が「素晴らしい作品を見せてもらい、感心しました」と述べ、浦田さんに表彰状と記念品を手渡した。

杉本部長は「絵を通じて人間と野生動物の暮らしについて考えてもらえる機会にしていただければ」。

浦田さんは「自分が選ばれるとは思っていませんでしたので、うれしさと同時に驚いています。外を歩いているときなど、鳥は身近で意識することが少ないかもしれないが、

大切な存在であることを改めて知ってほしいと思いつつ描いた。今後も鳥を大切に思い、人への感謝の気持ちを強く持っていきたい」と話していた。(榮本康人)



入選した浦田さんの作品(東牟婁振興局提供)